

会社概要

名称	川崎紙運輸株式会社
所在地	本社：神奈川県川崎市川崎区浮島町12番2号 TEL:044(266)5395 FAX:044(266)5440 千葉営業所：千葉県千葉市中央区神明町13-1 神明ビル205 TEL:043(382)4550 FAX:043(382)4552
設立	1980年12月22日
資本金	3,000万円
年商	22億円
事業内容	運輸事業 〔紙製品の水切り／横持／保管／出荷／運搬〕 〔古紙の受入／保管／出荷／船積／荷役〕 倉庫事業
役員	代表取締役 佐々木 勝雄
従業員	社員46名
車両保管数	25tトレーラー 12台 15tトラック 3台 計 15台
専属庸車	18台
許可・免許	一般貨物自動車運送事業(関自貨2第2395号) 自動車運送取扱事業(東陸自登第2391号) 倉庫業(東北倉営許第9-10号第245号)
認定	安全性優良事業所認定(認定番号2403465) グリーン経営認証(登録番号T140206)
取引銀行	愛媛銀行 伊予銀行
主要取引先 (順不同)	大王製紙株式会社／ダイオーロジスティクス株式会社／ 大王海運株式会社／東京紙パルプ交易株式会社

事業内容

これら3つの事業を展開することで、
情報化と産業システムの多様化が進む現代社会に対応し、
顧客のニーズに合わせた迅速かつ確実な物流サービスを提案・
実行いたします。

陸上輸送

多種多様な貨物に対応するために
2tから25tのトラックを手配し、
スピーディーな一貫輸送を実現しています。



港湾荷役

コンテナとクレーンを
併用し、慎重かつ迅速に
荷役の遂行に努めています。

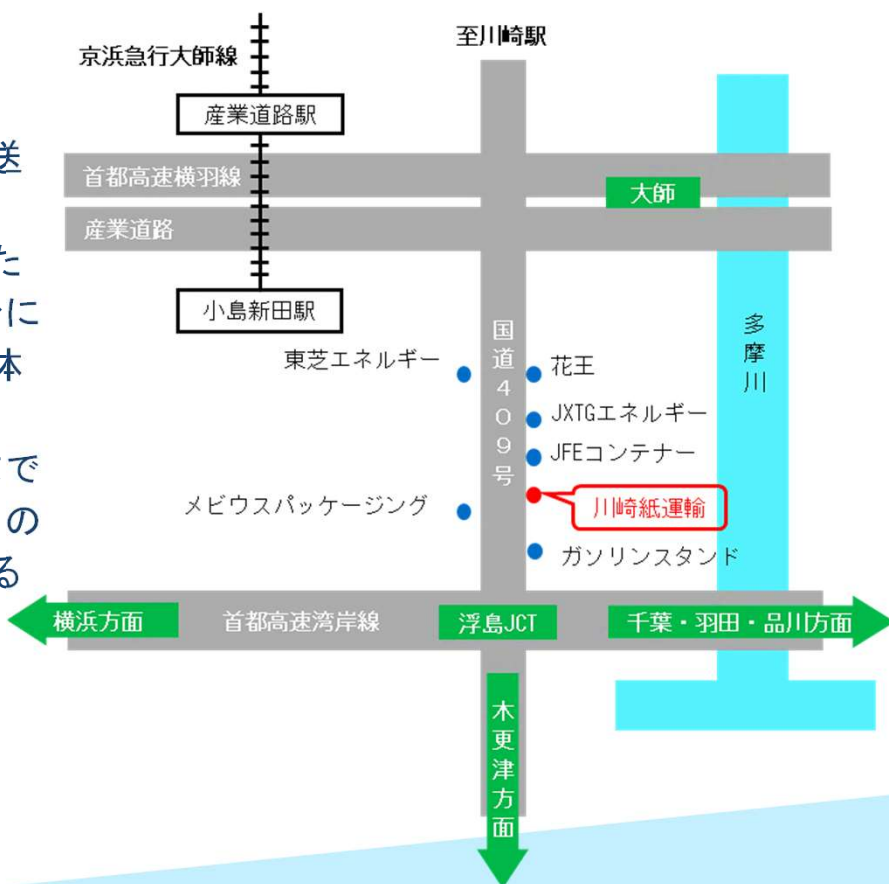
倉庫業

可能保管数量20,500tの
倉庫で保管されている
貨物はすべて自社の
システムで管理されて
います。

陸上輸送



関東一円をメインに紙製品の輸送を行っています。
 お客様のニーズに的確に応えるため、自社車両8台、専属庸車18台にスポット便等も合わせた計50台体制で対応しています。
 また、首都高速湾岸線 浮島ICまで約3分という立地も、お客様からの急なご要望にも迅速に対応できる大きな強みです。



実績あるプロが手掛ける製紙業界での専属輸送

新聞・出版・印刷用紙から板紙・家庭紙に至る製品を、関東一円の各印刷メーカーへと輸送しています。

「事故なく、遅延なく、荷傷なく」をモットーに社員教育を徹底し、品質と安全を重視した輸送体制を構築しています。

また、環境問題がより重視される現代社会において、再生利用される古紙の輸送を積極的に取り入れるなど、一企業として環境・社会貢献を果たすべく努力をしています。

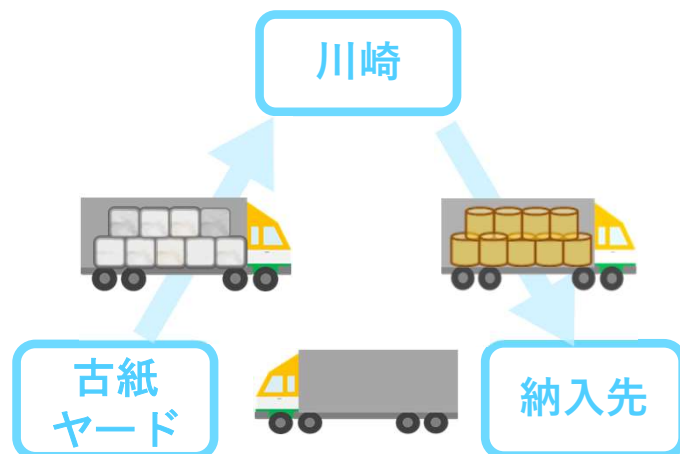
こうした専属輸送を通して培われた信頼と実績を活かすとともに、より確実な「輸送・荷役体制」を整えて、お客様の様々なニーズにお応えします。



セット物流

紙製品輸送後、近隣の古紙ヤードにて帰り荷として古紙の引取りを行うことで、空荷率を低減させ、輸送効率を向上させています。

また、無駄の少ない輸送により、不必要なCO2排出量の削減に貢献します。



港湾荷役



499船（1,600t積み）クラスの本船が接岸可能なプライベートバースを敷地内に有しています。

大王製紙株式会社の三島工場（愛媛県四国中央市）で作られた製品が、内航船により1日半かけてこのプライベートバースへと運ばれてきます。

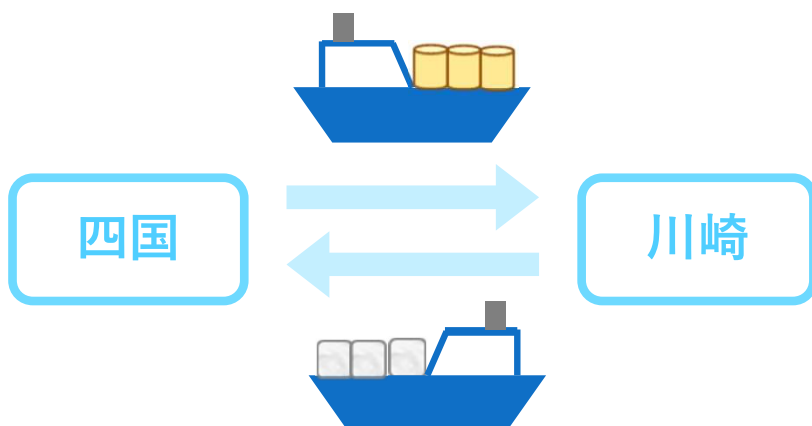
紙製品の一連のサイクルの要を担う

船内に収められた製品をクレーンにて水切りし、倉庫内へと続く専用スロープに乗せられた製品はスムーズに倉庫へと入っていきます。

製品を水切りし終えた空の船には、セット物流にてヤードから引き取ってきた古紙を積み込み、四国へと返しています。

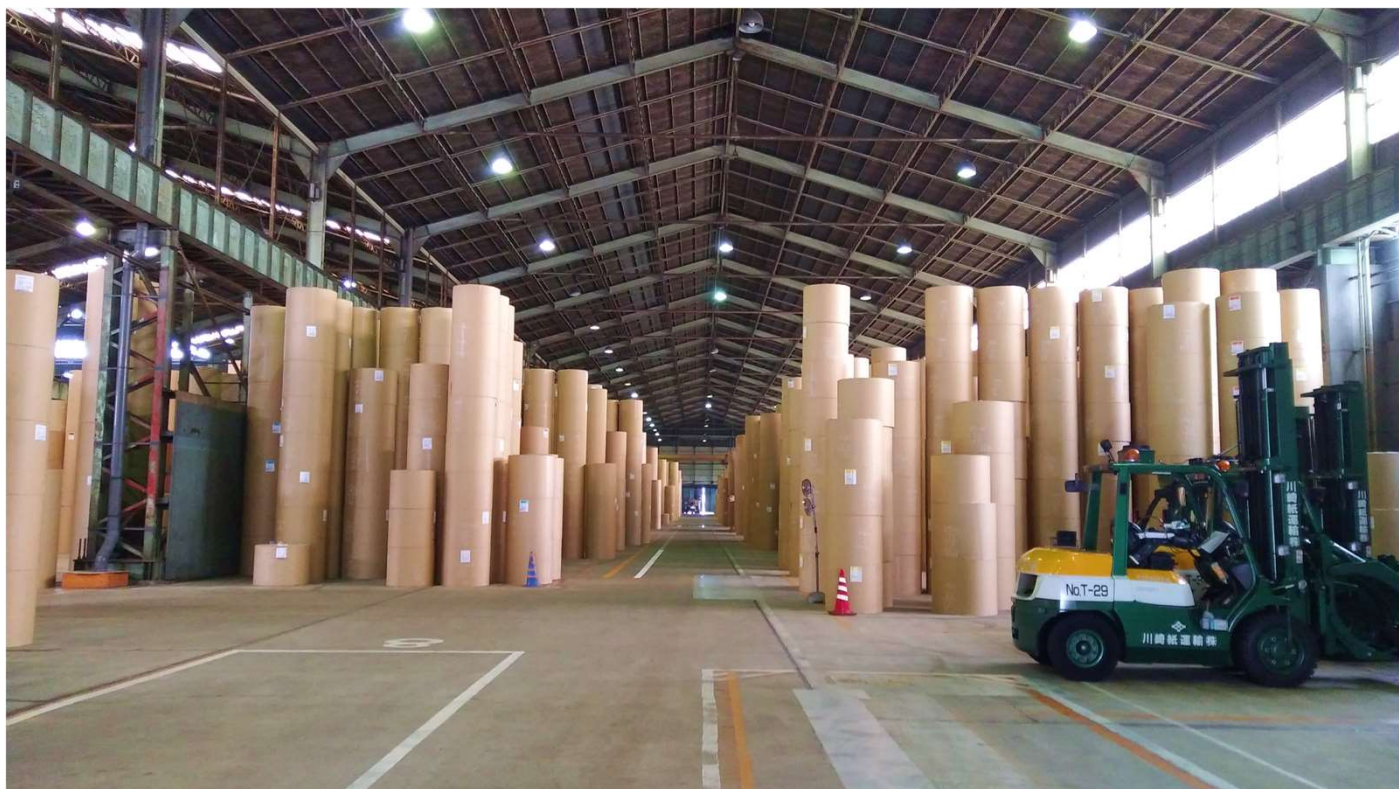
四国ではその古紙を原料の一部として様々な紙製品を作っています。

紙製品が作られ、納入先へと配送され、使い終わって古紙となったものを引き取って船に乗せ、工場にてまた新しく生まれ変わる。そのサイクルを支えています。



往路では製品を積み、復路では古紙を積むことで輸送効率を上げるとともに空荷率の低減を図っています。

倉庫業



好立地・最新技術を活用した一貫性輸送システム

荷役・入庫・出庫・配送の一連の作業を、安全で、かつ効率よく行なうために、川崎という立地に倉庫を設けています。

保管されている製品は、すべて自社システムにて管理されていますので、荷主からの急ぎの要望にも迅速に対応でき、さらには一貫性輸送システムを通じてコストダウンも可能にしています。

今後はエリア拡大に向けて、最新のシステムを積極的に導入し、さらなる受け入れ体制の強化を実現しながら、各企業への利益のバックアップに大きく貢献しようとして日々戦略的に事業を推進しています。



グループ会社一覧



大王海運株式会社

住 所 東京都千代田区富士見2-2-5 飯田橋メインビル
愛媛県四国中央市三島紙屋町7番35号

U R L <http://www.daio-kaiun.com>



美須賀海運株式会社

住 所 東京都千代田区富士見2-2-5 飯田橋メインビル5F
愛媛県四国中央市中之庄町1692番地2

U R L <http://www.misuga-kaiun.co.jp>



三共エンジニアリング株式会社

住 所 愛媛県四国中央市中之庄町1700番地

U R L <http://www.sankyoeng.co.jp>



三共オートサービス株式会社

住 所 愛媛県四国中央市中之庄町1692番地

U R L <http://www.sankyo-auto.co.jp>



大王海運リクルート株式会社

住 所 東京都千代田区富士見2-2-5 飯田橋メインビル7F
愛媛県四国中央市寒川町1220番地1

U R L <http://www.ijob-net.com>



いわき大王紙運輸株式会社

住 所 福島県いわき市南台4丁目3-6

U R L <http://www.iwaki-kami.co.jp>



いわき陸運株式会社

住 所 福島県いわき市三沢町沼平59

U R L <http://www.iwaki-riku.co.jp>

川崎紙運輸について

大王製紙株式会社の製品を関東圏に届ける拠点として設立したのが川崎紙運輸株式会社です。

1980年の創業以来、私たちが輸送しているものの約99%が紙製品。

紙製品輸送のプロとして、安全と信頼を守っています。



3つの部門

川崎紙運輸の社員は大きく分けて3つの部門に分かれています。

①ドライバー

トラックやトレーラーに乗って、紙製品輸送や古紙の引取りを行います。

②オペレーター

クランプリフトに乗って、紙製品の入出庫をします。船やトラックで輸送されてきた紙製品を入庫・保管し、出庫の際は紙製品をトラックに積み込みます。

③事務スタッフ

紙のサイクル

紙は循環する資源です。
ここで川崎紙運輸が扱う紙製品の
一連の流れを見てみましょう。

古紙は新たな紙製
品の原料になる

工場

愛媛県四国中央市にある
大王製紙株式会社の三島
工場で紙製品が作られる。

川崎

弊社に集まった古紙を、
製品を降ろして空になっ
た船に積む。



川崎

クレーンで船から引き揚
げられた紙製品は、専用
スロープにて倉庫内へ。



古紙ヤード

役目を終えた紙は、古紙
としてヤードに集められ
ます。
その古紙を弊社のトラッ
クが引取り、川崎へ。

納入先

依頼があった紙製品は、
倉庫からトラックに積み
込まれ、納入先（新聞社
や印刷所、段ボール工
場）へと輸送される。

市場

みなさんの身の回りの紙製
品（新聞、雑誌、チラシ、
包装用紙、段ボールなど）
として市場に出回ります。

オペレーターの仕事

今回募集している「リフトオペレーター」の仕事の一部を紹介します。

トラックへの積み込み



伝票に記載された通りの製品をトラックに積み込みます。
納入先によって指定の積み方があるほか、ドライバーさんの希望の積み方もあるのでオペレーターの腕の見せ所です！

はい付け作業



船から降ろされ、専用スロープで倉庫内に入ってきた製品を品名・寸法ごとに決められた場所に配置します。

その他イレギュラーなもの

荷主からの要望があった場合、たまにはこんなことも…

- ロットNo.調査→指定品名の数本の中から該当のNo.を探す
- ラベル貼り替え→製品に貼ってある白いラベルを張り替える
- サンプル採取

あるオペレーターの1日

7:50 1日のスタートはみんなでラジオ体操！

7:55 オペレーター控室でミーティング。
船の有無や1日の流れの情報を共有します。



8:00 本船からの荷卸し開始。
本船作業でオペレーターが担当するのは
スロープで倉庫内に入ってきた製品の
はい付け作業。
これで製品の入庫が完了します。



12:00 お昼休み。
お弁当を持ってきてる人もいますが、
仕出し弁当を頼んでいる人が多いです。

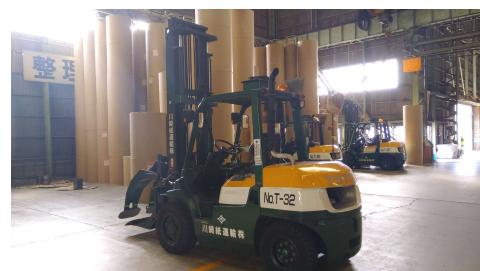


13:00 午前の続きで本船作業。
本船は夕方に古紙を積んで工場（愛媛県
四国中央市）に返すので、みんなで協力
してそれまでに製品を入庫します。



15:30 翌日分の配送伝票が出始めるので、
宵積み（前日夕方に積むこと）の分を
トラックに積む。

17:30 リフトを倉庫内に駐車して退勤。
お疲れさまでした！



※なお、休憩時間は
10:00、15:00、17:00に
10分ずつあります。

会社の様子



扱っている紙製品の中には、カラフルなものや知っているメーカーのものもあります！



事務所2Fの運転手控室。
お昼ご飯を食べるほか、
各種表彰の際にも使います。



オペレーター控室。
朝のミーティングはここで。



川崎紙運輸に興味を持って
いただいた方はぜひ会社見学に
いらしてください。
みなさんにお会いできるのを
楽しみにしています。

